

## 機関紙：自由民主【若者の主張】

### 若者の政治参加を促進

2016年夏の参議院選挙では、昨年6月に改正公職選挙法の成立により選挙年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられ、18歳、19歳が新たな有権者に加わりました。私も新たな有権者として投票場に足を運ぶことができました。

しかし18歳、19歳全体の投票率は45.45%と半分に満たない数字でした。大きな話題になった18歳選挙権ですが、なぜこのような数字になってしまったのか。

それはまだ、私たち若者の政治への参加の場が少ないことだと思います。若者の目線から政治の世界を見てみると、若者が入っていけるように思えなかったり、まだ私たちには関係のない話と思えたりします。政治はどう思う？と言われてたら若者は答えるのがとても難しい話です。

現在、地方議会での政務活動費の問題が新聞やニュースで大きく報じられています。政治の知識は少ないですが、このような話題は決して良い事ではないことは、誰にでも分かることです。このようことが起きてしまうと、若者が政治への関心よりも不信感が芽生えてしまいます。

与党である自民党には、若者が政治から目を背けるのではなく、関心を生んでくれる政党になってくれることを期待します。